



NPO法人 国際社会人剣道クラブ中国地区クラブ会報

INTERNATIONAL GOODWILL KENDO CLUB

第276号 2025（令和7）年3月発行

中国地区クラブ会長 三好 伸二

発行責任者 幹事長 寺本 昭彦

事務局：〒739-0321 広島県広島市安芸区中野 2-11-30

携帯電話：090-4574-1749

E-mail：z04zkxf8fe@hi3.enjoy.ne.jp

正心

SEI SHIN

特定非営利活動法人 国際社会人剣道クラブ <http://www.npo-igkd.or.jp>

2025(令和7)年新年度スタートです！！

3月1日「2025(令和7)年度」新年度がスタートしました。

2024(令和6)年度は、広島県福山市で開催しました全国例会(第21回国際親善剣道大会)は、開催ホストクラブとして、上位入賞(女子個人戦6段以上：優勝、男子個人戦59才以下の部：準優勝・第三位、団体戦：三位)を果たすなど、盛大に無事故で成功裏に終える事ができました。改めて、会員皆様に感謝申し上げます。

さて中国地区クラブでは、3月8日の定期総会において、金尾静一参与(広島県)が副会長に就任し、新たな体制となりました。

当地区クラブとしては、会員皆様が“楽しく参加し、納得できる”例会運営・国際交流そして活動基盤となる会員増(+純増5名以上)並びに次回の全国例会の体制確立・選手強化に向けた各種施策の展開に取り組みます。

これらの活動の実現には、会員ひとり一人の皆様のご理解とご協力が必須です。

何卒、引続きよろしくお願い申し上げます。

敬具

幹事長 寺本 昭彦

【第276号の主な事項】

- ① 2025年度4月例会(宿泊)は、4月5日(土)～6日(日)に広島県広島市において開催します。
NPO-IGKC 本部より曾根理事長・高好監事並びに幡野先生が参加予定です。＜今年度が最後の予定＞
また、会場は広島刑務所の道場(修武館)を使用させていただき、刑務所の方も参加される予定です。
土曜日だけの稽古参加で結構ですので、多数のご参加をお願いいたします。
- ② 5月3日(火)、全国例会(通常総会)が、京都市にて開催されます。多くの参加をお願いします。
- ③ 新会員の確保・拡大に向けて、会員ひとり一人の活動により、
一名でも多くの新会員の獲得にご協力をお願い致します。



2025(令和7)年度 3月新年度例会『宿泊』＝広島県尾道市＝のご報告

2025(令和5)年3月1日から、新年度がスタートしました。新年度の「3月例会(宿泊)」「役員会」「定期総会」は、3月8日(土)～9日(日)、少々肌寒さを感じる中で、開催場所を福山市から尾道市『尾道ふれあいの里・体育館』に変更して開催されました。

【会計監査】

3月8日(土)、尾道市のふれあいの里 打合せコーナーにて小下監事による2024年度会計決算報告の会計監査(竹島監事

は当日欠席のため事前に監査・承認済み)を受け、全て適正に処理されている事の承認を得ました。

【役員会】

3月8日(土)12時00分から、「尾道ふれあいの里 会議室」にて役員会を開催しました。

三好会長より「2024年度全国例会・第21回国際親善剣道大会は、盛大に無事故で成功裏に終了したこと、及び中国地区クラブ会員皆様の努力と団結力の賜物であると喜び・感謝の言葉」をご挨拶いただきスタートしました。

定款により、三好会長を議長として議事が進行しました。

出席者数(総勢：13名、出席：10名、委任状：3名)の確認に続き、寺本幹事長から、第1号議案：2024度の事業報告、第2号議案：2024年度決算報告並びに会計監査報告(金尾参与(全国例会・大会準備委員長兼大会運営委員(総括))から2024年度全国例会・第21回国際親善剣道大会決算報告、小下監事から監査結果報告)、第3号議案：2025年度の事業計画(案)、第4号議案：2025年度予算計画(案)、第5号議案：2025年度中国地区クラブの運営について(案)、第6号議案：2025年度～2026年度中国地区クラブ役員、その他：①IGKC創立60周年記念誌作成へのご協力をお願い」についての説明を行いました。また、金尾全国例会・大会準備委員長兼大会運営委員(総括)より「その他：②2024年度全国例会・第21回国際親善剣道大会の結果報告、③次回全国例会(2030年度予定)・国際親善剣道大会(第27回予定)の開催に向けて(提案)」についての説明がありました。

第1号議案から第4号議案・第6号議案・その他は原案どおり議決されました。第5号議案は、i.7月例会の開催地は福山市も含める意見があり福山市を追加、ii.2030年度全国例会の全国制覇に向けた出稽古は他地区クラブとの合同例会等の意見があり早期に計画・調整、することで了承いただき原案どおり議決されました。

熱心な議論をいただき、予定時間いっぱいの14時00分に終了しました。ありがとうございました。

【準備運動、写真撮影、座礼】

例会第1日目(3/8):14時00分、「尾道ふれあいの里 体育館」に会員26名が集合しました。

役員会の終了が少し遅れたため、14時15分開始となりました。まず松田先生の号令により準備体操・素振りを行い、参加者全員で記念撮影を行い、座礼。三好会長より「春の兆しを感じる時期となりましたが、まだ気温が上下するため、体調管理を十分行っていただき、稽古に取り組んでいただきたい。」と開催のご挨拶をいただき、例会開始となりました。

続いて、春の昇段審査会が目前に迫っていることから、三好会長から昇段審査に向けて「1.『構え』は、①左足にしっかり重心を置き、膝は少し曲がり、いつでも打てるような力が入った状態、②前に出る時は腰から出るように、③構えた状態は、上丹田・中丹田・下丹田が真上から真っすぐになった状態で、肚を少し後ろに下げ力を入れる(腹に力が入っていないと大きな発声ができない)、額を少し引き、腰を立てる、うなじを伸ばし、奥歯をしっかりと噛み、口は半開きで横に伸ばす(鼻だけで息をすると頭が揺れる)、④竹刀の握りは、i左手は竹刀の柄頭を半掛けで、小指・薬指のみ力を入れ、構えた左手の第一関節が臍の前、ii右手は上から軽く添えて、柄を手のひらで巻くように握り(右手の握りが空いていると、強く握ると手元が上がってしまう)、親指は床と並行、人差し指と中指は少し離す、iii竹刀を引っ張ると抜けるくらいの握り、⑤肩は下げて、左肩が少し低く・右肩が少し高くなる、⑥両脇の後ろの肉を下に下げ、懐を広くする、⑦剣先は、左目の内側(三角矩の構え)に置く、⑧上半身は自然体で右に少し開いた状態になるが、下半身はいつでも打てるように張って締まった状態、⑨打った時



は、左肩は前に出て押手となり、右肩は引き手になる。2. 審査における注意すべき点は、①審査会場では、歩く時・立ち合いまで行く時も腰が据わった摺り足で移動すること。② i. 審査においては、お互いに礼をした後は、おもむろに帯刀となり、半呼吸おいて肚に力を入れてズイ・ズイ・ズイ〜と前進・蹲踞し、「始め」の合図があるとゆっくりと立ち上がり、肚に力を入れて真つすぐ前に半歩出て(横に出ると審査員は見てくれない)、主導権を取ることが大事。ii. その後は10秒位攻め合ってから発声する。iii. 最初に良い出頭面があれば、調子に乗って打たず、相手の心理(最初に打たれたら焦る、同じ技は出さない)を読み、相手の攻めを捌き、相手が出ようとするタイミングで技を出すことが大事。(最初に良い出頭面があり、同じ調子で出頭面を打って外れてしまうと、審査員の頭は、最初の出頭面は消えてしまう)、iv. 審査では相手の審査内容を見ず、自分の剣道に集中する方が良い。(相手の癖を見て対策を打とうとしても、相手も前の失敗をしない様に考えるので、思ったようにいかず失敗してしまう)」ことについてご指導いただきました。

【基本打ち稽古】

平川副会長の号令・ご指導により、模擬審査に向けて基本打ち稽古を注意いただきながら、①切り返し：打つと同時に右足が付き、直ぐに左足を引き付けること。②面打ち：合気になったところを一拍子で打つこと。③出小手打ち：相手の手が上がったところを打つのではなく、手元が上がろうとするところを読んで打つこと。④面に対する応じ技：打った後はすり抜けて残心を取ること。⑤小手に対する応じ技、⑥打ち込みように)を行いました。



【審査研修会】

15時20分開始。審査研修会は、審査委員に三好教士八段・平川教士八段に務めていただき、2会場で実施しました。

審査研修会の受審者は、八段位：8名、七段位：3名、六段位：3名がチャレンジしました。

受審者の皆さんは、少々硬い表情で動きにも力みを感じ、やや緊張感が漂っておりました。やはり、姿勢・発声・間合い・攻防等において、平素の稽古とは別人の感じがしました。

受審段位毎に立合い終了後、審査員の各先生から個人毎に評価をいただきました。

審査研修会の終わりに三好会長より総評として『皆さんの審査研修を拝見させていただいたが、相手を崩して打っていない。相手との間合いの攻防がないため、打突ができていない。審査員が一番良い評価をいただくのは、やはり出頭面である。その出頭面で打つためには、ゆっくり入って相手を崩し、相手が出ようとするところを出頭面で打つ。スッと入ってしまうと相手の動きに素早く応じることができない。小手を狙っているのが分かると、剣先を上げて小手を誘って、小手摺り上げ技又は小手払い技を出す。また横への体の捌がない。その為、間合いが近くなり、硬直した状態で打てなくなっている。攻めて相手が動かなければ、間合いを切り、また攻める。そのように攻めていることを表現し、審査員に攻めていることをみていただくことが重要である。』と厳しいご指導をいただきました。



【稽古会】

16時15分過ぎ、三好教士八段、平川教士八段を講師陣とする指導稽古、及びお互い稽古に移りました。

審査研修結果を意識しながら掛かる者、果敢に掛かる者、ひたすら無心で掛かる者いろいろですが、なかなか心・技・体一致の打ちに悪戦苦闘の様子でした。また、指導稽古が終わればお互い稽古に取り組んでおりました。少々汗ばみ、指導稽古も十分にいただき・課題もいただく等充実した約1時間の稽古でした。17時に無事稽古終了となりました。

第一日目の稽古終了にあたり、三好会長から『審査研修でも話をしましたが、攻めが無いと、しっかりと打突ができない。触刃の間から一足一刀の間で数回攻めて、相手の動きを十分見て、打つ時はゆっくり攻め入って、相手が出ようとする出頭を打つ。相手が攻めて来れば、体を捌いて相手の中心を攻め、相手が出ようとするところを打つ。そして自分が優位な時に打突をする。攻めて相手が出てこない場合は、更に瞬間的に小さく攻めて、相手を出さして打つ。間合いの攻防を意識するように。』と講評・ご挨拶をいただきました。



三好会長



平川副会長



続いて、三好会長から、2月2日(日)の福岡県剣道審査会において『六段』に合格されました森本正孝先生(鳥取市)に記念品を贈呈しました。

森本先生からは、「月例会に積極的に参加し、7段に向けて精進してまいります。」とお喜びの決意表明がありました。



森本先生記念品贈呈

【定期総会】

17時15分、まず定足数確認(会員数：62名、参加57名(うち委任状32名)、棄権5名)により総会成立を宣言。続いて三好会長から開会の挨拶をいただき、議長に寺本幹事長を選出し、議案説明は寺本幹事長より、①「2024年度の事業報告」、②「2024年度決算報告並びに会計監査報告」(うち、「2024年度全国例会・第21回国際親善剣道大会決算報告」は金尾参与(全国例会・大会準備委員長兼大会運営委員(総括))より説明、「監査結果報告」は小下監事より説明)、③「2025年度の事業計画(案)」、④「2025年度予算計画(案)」、⑤「2025年度中国地区クラブの運営について(案)」、⑥「2025年度～2026年度中国地区クラブ役員」について説明がありました。また⑦その他、i. 金尾全国例会・大会準備委員長兼大会運営委員(総括)より「2024年度全国例会・第21回国際親善剣道大会の結果報告」、ii. 寺本幹事長より「IGKC創立60周年記念誌作成へのご協力をお願い」の説明を行いました。いずれの議案も満場一致で承認されました。ご協力ありがとうございました。

【懇親会】

宿泊者12名は宿泊所の「尾道ふれあいの里」の大浴場に入り汗を流した後、19時に同場所「ききょうの間」に集合。三好会長の乾杯の発声により懇親会スタート。稽古後・総会後でもあり喉も乾いており、乾杯のビールは何と言っても幸せな一瞬でした。その後は、やはり審査研修会中心の剣道談議です。時間が経つにつれて、小グループとなり剣道談議に熱中でした。楽しい時間は早いもので、いつの間にか終了時間となっており、最後に



定期総会で副会長に就任されました金尾副会長より終わりの乾杯により閉宴となり、朝稽古の開始時間を確認して解散しました。

【朝稽古会】

第2日目(3/9)午前9時30分、朝の肌寒い中、稽古会場は昨日と同じ「尾道ふれあいの里 体育館」に11名の会員が集合し、写真撮影、座礼。金尾副会長にご挨拶をいただき、稽古を開始しました。参加者人数が少ないこともあり、回り稽古で基本打ち稽古を20分程度、互い稽古を40分程度行いました。皆さん、昨日のご指導・反省・課題を意識しながら、稽古に励んでいました。



2025年3月9日(日) 於:尾道市『尾道ふれあいの里 体育館』

休憩もせず、1時間続けたため、皆さん疲れておられましたが、十分充実した稽古ができました。(10時30分頃終了)

朝稽古後は、「体育館」にて解散となり、参加者それぞれ帰路につきました。(11:30)



～お疲れ様でした。～

(剣道講師陣) 剣道教士八段 三好伸二、剣道教士八段 平川龍馬
(参加会員) 三好伸二、平川龍馬、石崎雄亮、井上雅史、岩崎公彦、岩崎美穂、岩田啓司、上野和雄、大上覚、岡崎隆司、岡本修司、沖田和清、奥野武男、尾崎貫一、金尾静一、樺山陽介、川崎康裕、京條利次、小下明人、中村信治、西本英樹、廣瀬幸太、松田悟、松原孝史、森本正孝、山田美紀、寺本昭彦 (敬称略、順不同、朝稽古会参加)

2025(令和)7年度 4月例会『宿泊』=広島県広島市=のご案内

【稽古会】 =宿泊例会=

日 時：2025(令和7)年4月5日(土) 14:00～16:30 (集合 13:30)

場 所：『広島刑務所武道場 修武館』

【宿泊】

場 所：『広島インテリジェントホテルアネックス』

【懇親会】

日 時：2025(令和7)年4月5日(土) 19:00～21:00

場 所：牡蠣小屋 個室 海鮮居酒屋 豊丸水産 広島新幹線口店

【朝稽古】

日 時：2025(令和7)年4月6日(日) 7:00～8:00 (集合 6:30)

場 所：『広島刑務所武道場 修武館』

2025(令和)7年度 5月全国例会(理事会・通常総会)=のご案内(予定)

5月例会は、京都市で開催される全国例会となります。

全国例会では「通常総会」が開催されますので、別途NPO法人国際社会人剣道クラブ本部より、個人宛にご案内が届きます。一人でも「定期総会」に多くの参加をお願い致します。なお、欠席される場合は、議決権行使のための返信用はがきは、必ずご返信下さい。

【定時総会】

日 時：2025年5月3日(金)

場 所：京都府京都市 「ホテルオークラ京都」

主 催：NPO 法人国際社会人剣道クラブ

お知らせ!!(昇段)

2025年3月15日(日)、福山市で行われた剣道審査会にて、前原先生が五段に見事合格されました。

ご昇段おめでとうございます。

前原 由和 先生(広島県福山市)

今後も益々お元気でご精武されることをご祈念申し上げます。



2025(令和)7年度国際交流事業について

2025年度国際交流事業は、以下のとおりです。

是非、国際交流事業における感動・感謝を体感しましょう!学ぶことはきっと沢山あります。

③ 2024年度国際都市剣道文化交流大会

期間：3月14日(金)～16日(日) 場所：台湾(高雄)

参加者：木谷先生、沖田先生、上野先生、小下先生、岩田先生、岩崎(公彦)先生、

岩崎(美穂)先生、寺本先生

成績：個人戦 女子40才以上の部 **岩崎美穂先生 準優勝**

男子45才以上64才未満の部 **岩崎公彦先生 第三位**

～おめでとうございます!～

※他の参加された皆さんも健闘されましたが、惜しくも入賞は果たせませんでした。



- ③ 2025年度第37回国際オープン韓国社会人剣道大会
期間：6月7日(土)～8日(日) 場所：韓国(ソウル)
- ③ 国際交流 (ラトビア(リガ))
期間：7月4日(金)～14日(日)
- 国際交流 (オーストリア等)
期間：10月3日(金)～14日(火)

お願い！！

新入会員（在住外国人剣士の方も）のご推薦をお願いします。